



2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月3日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL http://www.kawachem.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	3,370	△9.5	83	177.5	83	166.3	63	208.8
2019年11月期第2四半期	3,723	2.8	30	△61.2	31	△59.9	20	△64.4

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 53百万円(769.6%) 2019年11月期第2四半期 6百万円(△87.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	51.79	—
2019年11月期第2四半期	16.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	7,441	1,965	26.4
2019年11月期	7,285	1,948	26.7

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 1,965百万円 2019年11月期 1,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年11月期の連結業績予想(令和元年12月1日~令和2年11月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年11月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現段階において合理的に算定することが困難であることから、未定としております。なお、業績予想の開示につきましては、可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年11月期2Q	1,220,000株	2019年11月期	1,220,000株
2020年11月期2Q	2,217株	2019年11月期	2,214株
2020年11月期2Q	1,217,783株	2019年11月期2Q	1,217,819株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、中国をはじめとする東アジア諸国における景気減速に加え、新型コロナウイルス感染拡大により世界全域にわたり経済活動が制限されるなど、大きな影響を受けたことから一層厳しい市場状況となりました。

国内経済も、新型コロナウイルス感染拡大により急速な悪化が進み、当社グループに関係の深い自動車産業においても、自動車生産並びに販売台数が減少し、当第2四半期に入り極めて厳しい状況となりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、急激に変化する国内外の市場における需要変動への対応を、全社を挙げて行うとともに、需要の高まっている受託合成品並びに品質・技術に優位性を持つ医療用・医薬用製品の製造販売に注力しました。

ゴム薬品の販売は、自動車関連市場が内外で急速に悪化したことにより前年を下回りました。中間体は、農薬・界面活性剤関連の製品で販売が増加し前年同期を上回りましたが、樹脂薬品、その他薬品については売上高が前年同期を下回りました。

一方、生産においては、安定供給を行うため全部門において新型コロナウイルス感染症への対策を行うとともに、全般の生産の見直しをはじめ、急激な需要変動に対する人員配置の最適化や需要の高い製品の積極的生産対応を販売・開発・製造のそれぞれの部門で徹底して進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は33億70百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益は83百万円（同177.5%増）、経常利益は83百万円（同166.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円（同208.8%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

① 化学工業薬品事業

売上高は、33億51百万円（同9.5%減）セグメント利益（営業利益）は68百万円（同355.1%増）となりました。

② 不動産賃貸事業

売上高は、19百万円（同0.8%増）セグメント利益（営業利益）は15百万円（同1.1%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内向けの工業用品生産は新型コロナウイルス感染拡大により、国内自動車生産において減産が進むなど、低調で推移しました。国内ゴム薬品では、新規製品や加硫剤の売上は採用拡大や需要拡大の影響で販売が増加しましたが、全体では当第2四半期に入りさらに生産が鈍化した影響を受け、売上は前年同期を下回りました。タイヤ向け薬品は、海外品との競合が激しくなったことや減産影響による顧客の需要減もあり、売上は前年同期を下回りました。合成ゴム向け薬品は、国内合成ゴム生産が低調に推移したことから、全体では売上は前年同期を下回りました。

海外向けは、東南アジア諸国においても新型コロナウイルス感染拡大による影響を大きく受けたことから、各国の経済状況が大幅に悪化し、自動車生産並びに販売が減少した影響から、売上は前年同期を大きく下回りました。

この結果、ゴム薬品部門合計の売上高は19億26百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内向けは主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルの生産が低調で推移しました。当社の主要製品もこの影響を受け販売が低調で推移しましたが、特殊品の販売が伸びた結果、売上は前年同期を上回りました。海外向けは、既存顧客に対する拡販活動を積極的に行い販売が伸びた商品もありましたが、主力商品において需要が低迷したことと併せて、海外品との競合が激しくなり、売上は前年同期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は3億56百万円（同18.3%減）となりました。

<中間体>

中間体の分野は、界面活性剤中間体は、主要品目で販売増となり売上は前年同期を上回りました。染料中間体は、品目で増減があり売上は前年同期を下回りました。農薬中間体は、主要品目において販売が復調した結果、売上は前年同期を上回りました。医薬中間体は、主力品の販売が顧客需要の拡大で増加しましたが、受託生産品の受注が獲得できなかったことから、売上は前年同期を下回りました。

この結果、中間体部門合計の売上高は4億44百万円（同10.8%増）となりました。

<その他>

その他の分野は、環境用薬剤は新規受注を獲得したものの、主要製品の需要が低調で推移したことから売上は前年同期を下回りました。潤滑油向けは全般に需要が低調でしたが、市場での需要変化に応じ生産を行い販売が伸びたことから、売上は前年同期を上回りました。新規用途向けは受託生産品と既存品において積極的な市場開発活動を行った結果、新製品の販売拡大もありましたが、一部商品の売上が前年同期を下回ったため売上は前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は6億23百万円（同2.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては74億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億56百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2億78百万円、たな卸資産が1億91百万円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が3億16百万円減少したことによります。

負債につきましては54億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億39百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が3億円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が1億65百万円減少したことによります。

純資産につきましては19億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が26百万円増加したことに対し、その他有価証券評価差額金が6百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億78百万円増加（前年同期は12百万円の減少）し、6億75百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少等による資金の増加に対し、たな卸資産の増加、仕入債務の減少等による資金の減少により2億9百万円の収入（前年同期は1億34百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により1億46百万円の支出（前年同期は2億38百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の増加に対し、長期借入金の返済による支出、配当金の支払等により2億18百万円の収入（前年同期は95百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループを取り巻く事業環境が大きく変化していることから、現時点で業績を見通すことは非常に困難であるため、通期連結業績予想は未定とさせていただきます。

なお、当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う当社グループの財政状態及び経営成績に大きな影響は生じておりませんが、今後の感染状況によっては当社グループの事業活動に影響を及ぼす可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査の上、開示の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	397,320	675,740
受取手形及び売掛金	2,686,283	2,369,396
商品及び製品	887,515	1,010,100
仕掛品	355,755	390,272
原材料及び貯蔵品	304,236	338,434
その他	25,323	19,234
貸倒引当金	△4,566	△4,027
流動資産合計	4,651,868	4,799,151
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,208,030	1,261,572
その他(純額)	1,190,978	1,158,085
有形固定資産合計	2,399,009	2,419,658
無形固定資産		
その他	21,426	18,034
無形固定資産合計	21,426	18,034
投資その他の資産		
その他	214,968	206,776
貸倒引当金	△2,174	△2,274
投資その他の資産合計	212,794	204,502
固定資産合計	2,633,230	2,642,195
資産合計	7,285,099	7,441,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,264,394	1,098,839
短期借入金	1,960,000	2,260,000
1年内返済予定の長期借入金	50,408	18,442
未払金	306,615	362,927
未払法人税等	22,855	34,122
未払消費税等	—	35,808
役員賞与引当金	12,000	7,500
その他	246,418	171,457
流動負債合計	3,862,692	3,989,097
固定負債		
長期借入金	903,312	897,474
役員退職慰労引当金	98,248	103,217
退職給付に係る負債	328,215	346,867
その他	143,885	139,252
固定負債合計	1,473,661	1,486,810
負債合計	5,336,354	5,475,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,260,911	1,287,452
自己株式	△7,746	△7,749
株主資本合計	1,921,603	1,948,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,930	17,461
為替換算調整勘定	3,210	△164
その他の包括利益累計額合計	27,141	17,297
純資産合計	1,948,744	1,965,438
負債純資産合計	7,285,099	7,441,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	3,723,850	3,370,640
売上原価	3,133,896	2,731,568
売上総利益	589,954	639,072
販売費及び一般管理費	559,822	555,465
営業利益	30,131	83,606
営業外収益		
受取利息	403	311
受取配当金	1,129	1,126
貸倒引当金戻入額	2,340	539
受取保険金	2,014	5,836
受取手数料	—	1,000
その他	7,273	4,093
営業外収益合計	13,160	12,906
営業外費用		
支払利息	6,684	8,283
貸倒引当金繰入額	—	100
為替差損	4,842	4,141
その他	350	337
営業外費用合計	11,877	12,862
経常利益	31,415	83,650
特別利益		
国庫補助金等収入	2,710	5,570
特別利益合計	2,710	5,570
特別損失		
固定資産除却損	1,237	3,455
特別損失合計	1,237	3,455
税金等調整前四半期純利益	32,887	85,764
法人税、住民税及び事業税	11,041	26,098
法人税等調整額	1,423	△3,408
法人税等合計	12,464	22,690
四半期純利益	20,423	63,073
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,423	63,073

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	20,423	63,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,800	△6,468
為替換算調整勘定	△3,501	△3,374
その他の包括利益合計	△14,302	△9,843
四半期包括利益	6,120	53,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,120	53,230
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,887	85,764
減価償却費	182,358	199,801
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,111	△439
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,123	18,651
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,000	△4,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,518	4,968
受取利息及び受取配当金	△1,532	△1,437
為替差損益 (△は益)	175	2
支払利息及び社債利息	6,684	8,283
固定資産除却損	1,237	3,455
売上債権の増減額 (△は増加)	124,567	316,887
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△80,337	△191,300
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45,906	△165,555
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△917	35,808
その他	△40,875	△78,751
小計	173,873	231,640
利息及び配当金の受取額	1,532	1,437
利息の支払額	△6,654	△8,226
法人税等の支払額	△34,309	△14,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,442	209,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△243,989	△146,598
無形固定資産の取得による支出	△10,946	—
貸付金の回収による収入	1,610	—
その他	14,802	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,523	△146,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	180,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△40,884	△37,804
リース債務の返済による支出	△7,665	△7,602
自己株式の取得による支出	—	△3
配当金の支払額	△36,326	△36,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,123	218,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,676	△3,377
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,633	278,419
現金及び現金同等物の期首残高	674,771	397,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	662,137	675,740

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症について、緊急事態宣言が全国的に解除されるなど、感染拡大が収束方向に向かいつつも収束時期を見通すのは困難な状況であります。

このような状況の中、感染拡大前の水準までに回復するには年内までの期間を要するとの仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,704,928	18,922	3,723,850	—	3,723,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,704,928	18,922	3,723,850	—	3,723,850
セグメント利益	15,015	15,116	30,131	—	30,131

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,351,558	19,081	3,370,640	—	3,370,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,351,558	19,081	3,370,640	—	3,370,640
セグメント利益	68,329	15,277	83,606	—	83,606

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は、今後の新型コロナウイルス感染症の影響による安定資金の確保のため、取引金融機関から以下の通り、資金調達を予定しております。

- (1) 資金の用途 新型コロナウイルス感染症の影響による不測の事態に備えた資金
- (2) 借入先の名称 株式会社りそな銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行
- (3) 借入金額 640,000千円
- (4) 借入金利 市場金利等を勘案して決定しております。
- (5) 借入実行日 2020年7月末日～8月末日(予定)
- (6) 借入期間 1～8年
- (7) 担保提供資産又は保証の内容 無し